

福泊海岸 自然遷移植生調査

県立姫路飾西高等学校 自然科学部

「姫路市的形町福泊海岸における砂丘植物の自然遷移調査」に参加しました。1989年に造成された人工海岸が年月の経過でどのように変化していくかを、コドラート法で植生調査します。この活動を通して植生調査の方法について学びふことができました。



いろいろな学校が集まり、たくさん的人数で調査しました。開会では、植生調査の意味や方法について説明があり、調査方法の研修がありました。調査は、植物名・被度・植物高などについて記録します。その後、グループに分かれて、担当箇所を調査しました。とても日差しがきつく、暑かったのですが、熱中症にならないよう気をつけながら調査を進めていきました。



初めは植物の名前が分からず苦労しましたが、直ぐに植物種や被度のレベルなどを手際よく判断できるようになりました。途中、判断に迷うこともありましたが、みんなで考えを出しあい話し合うことで、まとまった意見にすることができました。植生調査という新しい体験をし、部活動内のコミュニケーションも一段と良くなり、とても良い経験ができました。